

三番瀬にかかる平成18年度自然環境保全基礎調査の実施について

平成18年9月27日
環境生活部自然保護課
同 環境研究センター

千葉県では、環境省自然環境局生物多様性センターからの受託調査として、平成18年度自然環境保全基礎調査「RS（リモートセンシング）と現地観測の統合による干潟・浅海域の生物多様性の評価手法の開発」の一環で、猫実川河口域のカキ礁について調査を行う予定です。

(1) 三番瀬における調査内容

1. カキ礁 層厚確認サンプリング
2. カキ礁 枠取りサンプリング
3. 周辺生物調査（目視観察による）

(2) 調査担当機関：環境研究センター

(3) 調査実施予定日：平成18年 10月 16日（月）

< 参考 >

「RS（リモートセンシング）と現地観測の統合による干潟・浅海域の生物多様性の評価手法の開発」

目的：

東京湾において、環境条件の異なる複数の干潟・浅海域を対象に、その環境特性（水質、底質等）、生物群集（海草類、海藻類、小型無脊椎動物、魚類等）の多様性、生態系機能（生産性、安定性、水質浄化機能等）を広域空間スケールで比較解析することにより、立地条件や人為的影響の変異に伴う、干潟・浅海域の生物多様性と生態系機能の変異を評価する手法を開発する。

具体的な研究内容：

- (1) 東京湾（千葉県側）沿岸部の現地情報を収集する（現況実測調査、過去の文献調査も含む）。
- (2) 過去にもさかのぼったリモートセンシング情報（航空写真、等）を収集する。
- (3) GIS（地理情報システム）を用いて(1)と(2)の情報を重ね合わせ、従来の小空間スケールの局所的解析では把握が困難であった、環境条件の広域変動と生物多様性、生態系機能の関連性を明らかにする。東京湾内の干潟・浅海域をモデルにして構築した本評価手法は、他の海域の評価にも応用することが可能である。